

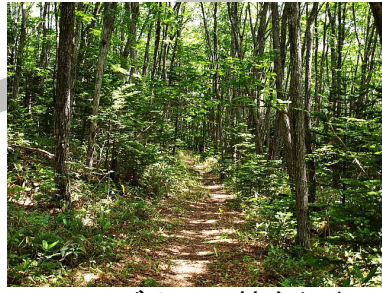
小松川高等学校 蓼科寮 周辺マップ

2008年度小松川高等学校PTA蓼科委員会

～御柱コース夏休み篇～

<コース案内> 「御柱の道トレッキングコース」 片道1時間、往復2時間程度

- ①寮駐車場から出発します。
- ②車道までの道端にクガイソウなど季節の花が咲いています。
- ③「御柱の道トレッキングコース」の案内看板があります。ここから三ノ輪平駐車場まで、要所に道しるべや説明看板があります。栈橋状の遊歩道に進みます。
- ④空地越しに蓼科山が見える絶景ポイント。
- ⑤遊歩道の終点。①から直接来ることでもできます。木漏れ日の涼しいミズナラの林を歩きます。
- ⑥空地を横切り⑦へ。
- ⑦空地の端にある道しるべを目印に数段降りて、塩沢堰沿いの道へ。水量豊かに流れる塩沢堰は疎水百選に選ばれています。⑦へは食堂前から直接来ることでもできます。⑪まで、広くて歩きやすい道です。
- ⑧陽だまりの笹の上にアキアカネやノシメトンボがとまっています。
- ⑨せせらぎの音が耳に心地よい場所。ヒガラの家族が水浴びに訪れます。ミソサザイのさえずりが爽やかに響き渡ります。
- ⑩五社大社。歴史を感じる場所です。
- ⑪ここから下りになります。諏訪大社の「御柱祭」のために伐り出されたウラジロモミの切り株を見ることができます。前宮四の柱の付近に、自然に倒れたモミの巨木が横たわっています。
- ⑫小川を渡ります。水底にシカの足跡があるかもしれません。ウグイスがしきりに鳴きます。
- ⑬切り株があるところは空が開けて陽が差し込み、様々な草花やモミの実生・若木が見られます。切り株の背景は苔むした岩とシダ。
- ⑭道の下を水が流れています。道に開いている小さな穴を覗いてみましょう。
- ⑮伐採跡の陽だまり。草花が美しい場所。クマイチゴの赤い実。トモエソウの黄色い花。シルエットが美しい羽状複葉のすらりとした高木はシラカバです。
- ⑯小川を渡ります。渡り終えると、笹の茂る細い道になります。
- ⑰森の端。カラマツに様々なツル性の植物が巻きついています。森を出ると道端に夏の草花が咲き競っています。少し休んで、もとの道を戻りましょう。同じ道でも下りと上りでは見えるものが違います。



ミズナラの林に行く

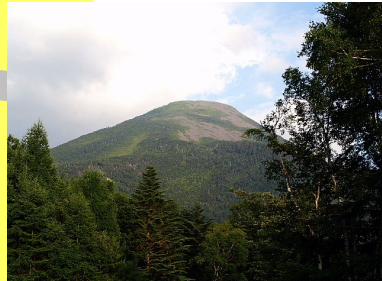
<御柱コースをより楽しむために>

都会にはない、本当の静けさを満喫しましょう。梢を渡る風の音、せせらぎの音、野鳥のさえずりや地鳴き、虫の羽音。耳を澄ませば身も心もリフレッシュ。

藪や梢がガサガサと音を立てたら注目を。シカやリスかもしれません。大型の蝶、アサギマダラ、ミヤマカラスアゲハが花の蜜を吸っていたら、そっと近づいて美しさを堪能して下さい。植物図鑑を片手に、オオカメノキ、ハウチワカエデ、ウリハダカエデなど葉に特徴のある木を探し歩くのも一興。

ヤマウルシ、ツタウルシなどのかぶれる植物、ヤマトリカブト、ヒョウタンボクなどの毒のある植物、クマイチゴなどトゲのある植物に注意しましょう。長袖長ズボン等、山道の通行に適した服装を心がけてください。

動植物の採集は禁止されています。



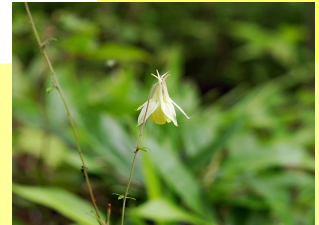
④からの蓼科山



ミヤマカラスアゲハ



ヤマトリカブト



ヤマオダマキ



アキアカネ



トモエソウ



サカハチチョウとアサギマダラ

2008/8/1調査